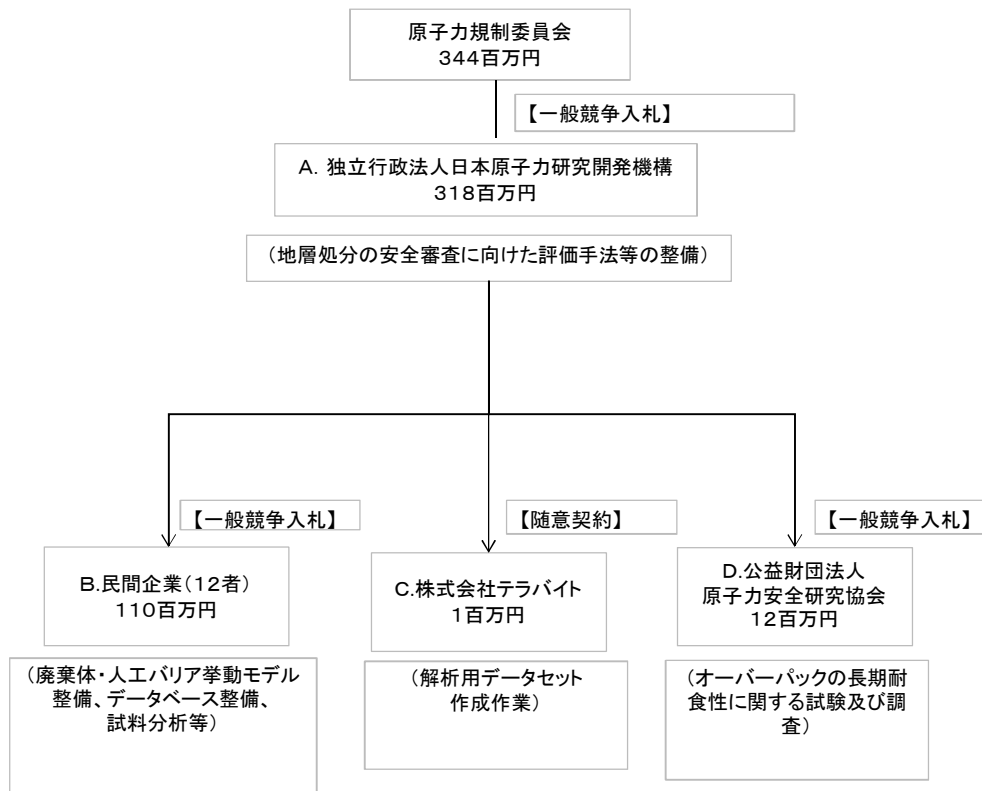


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地層処分への安全審査に向けた評価手法等の整備		担当部局	原子力規制委員会原子力規制庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度・平成26年度		担当課室	安全規制管理官(廃棄物・貯蔵・輸送担当)	安全規制管理官(廃棄物・貯蔵・輸送担当) 小原 薫			
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)		政策・施策名	1. 原子力・放射線施設の安全確保 2. 危機管理体制の整備及び事故時の影響緩和 3. 原子力規制行政に対する信頼の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第6項 特別会計に関する法律施行令第51条第7項第9号		関係する計画、通知等	特定放射性廃棄物の最終処分に関する基本方針及び計画(平成20年3月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国は、事業者による高レベル放射性廃棄物等の地層処分事業の許可申請を受け、原子炉等規制法に基づく審査を行う。本事業では、当該審査のために、安全設計及び安全評価の基本的考え方の取りまとめ並びに想定される変動要因(人工バリア材の変質・劣化、地質及び気候関連事象の発生リスクなど)が放射性核種の移行や人への被ばくに与える影響を評価することのできる安全評価手法(シナリオ、モデル、コード)の整備を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	本事業では、地層処分事業の事業許可申請に対する審査において、水理・地質環境、人工バリア、廃棄体を組み合わせた処分システムの安全評価を行うことを踏まえ、安全評価シナリオ・モデル及び重要なパラメータ等について試験及び解析による検討を行うことで、地層処分の規制に活用するために安全性を確保するための考え方を整理する。さらに、日本全国を対象にサイトを特定しないものの、文献調査地区及び概要調査地区の選定によって今後定まる我が国の処分候補地において想定される代表的な化学的環境を踏まえた、放射性核種の移行や人への被ばくに与える影響を評価することのできる体系的な安全評価手法(シナリオ、モデル、コード)を整備する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	379	359	344	270	270	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計		379	359	344	270	270	
	執行額		319	330	318			
執行率(%)		84.2%	91.9%	92.4%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	高レベル放射性廃棄物等の地層処分に関する安全評価手法等が整備されること。 ※安全評価手法等の整備に関しては、定量的指標を示すことは困難である。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	地層処分に係る体系的な安全評価手法の整備のため、本事業の一部として作成された事業報告書の件数		活動実績 (当初見込み)	報告書数	22	16	13	-
					(24)	(17)	(13)	(8)
単位当たりコスト	24,462(千円/件)		算出根拠	24年度の執行額(318百万円)と24年度の報告書件数(13件)から算出された値				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	人件費	162	170	過年度の成果の取りまとめ及び課題抽出を行うことによる工数の増				
	調査関係費	66	60	課題抽出のための予備的試験が主体となることによる外注請負費の減				
	諸経費	6	4	過年度の成果の取りまとめ及び課題抽出が主体となるため、情報収集を目的とした国際学会等への参加回数が減少することによる減				
	一般管理費	23	23					
	消費税	13	13					
	計	270百万円	270百万円					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国は高レベル放射性廃棄物等の処分に際して、その安全審査を行うに当たり、安全確保に関する考え方及び安全評価手法を整備しておく必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業の受託先は一般競争入札により決定し、再委託先についても受託者が一般競争入札を行うなどして決定していることから、中間段階における支出の合理化が図られていると認められる。また、確定検査を行い、委託金の使用が事業目的に即し、真に必要なものに限定されていることを確認している。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業により開発された安全評価に関するコードについては、順次、原子力安全基盤機構に移管され、地層処分の安全評価のためのコード整備に資している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	資金の流れ及び費目・使途については、確定検査を通じて確認を行い、妥当なものであることを確認した。また、事業の実施に当たっては、事業者が適宜、規制機関に計画・進捗状況及び事業結果を確認しつつ事業を進めており、計画的かつ効率的に事業を実施していたと認められる。さらに、その成果は事業許可申請に係る審査の際の放射性物質の閉じ込め機能を評価するための検討等において有効に活用される。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続き効率的な事業実施に努めること。また、入札を行ったものが一社応札のみとなっているため、その原因や課題等を明確にし、競争性が確保されるよう入札方法等の改善を図ること。委託先における契約についても手続き等の妥当性を確認すること。					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	契約の分割及び過去の入札説明会参加者への声かけ等を行い競争性の確保に努めるとともに、確定検査において委託先の契約手続き等の妥当性を確認することで、引き続き効率的な事業実施に努める。					
	備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	558	平成24年	347

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 独立行政法人日本原子力研究開発機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	廃棄体・人工バリア挙動モデル整備、データベース整備、試料分析等	123			
人件費	補助職員	108			
物品購入費	分析機器、消耗品等	53			
その他	一般管理費	18			
装置保守費	分析機器	9			
旅費	職員旅費	4			
その他	委員謝金、委員旅費、印刷費、放射性廃棄物処理・処分費等	3			
リース料	情報端末等	1			
計		318	計		0
B. 民間企業 (株式会社クインテッサジャパン)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	ニアフィールド環境の変遷を取り扱うシナリオシミュレーションシステムと連成解析モデルの整備	25			
計		25	計		0
C. 株式会社テラバイト			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	解析用データセット作成作業	1			
計		1	計		0
D. 公益財団法人原子力安全研究協会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	オーバーバックの長期耐食性に関する腐食試験および文献情報の整理作業	12			
計		12	計		0

支出先上位10者リスト

A.独立行政法人日本原子力研究開発機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人日本原子力研究開発機構	地層処分安全審査に向けた評価手法等の整備	318	1	97%

B.民間企業(12者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株) クインテッサジャパン	ニアフィールド環境の変遷を取り扱うシナリオシミュレーションシステムと連成解析モデルの整備	25	2	非公表
2	(株) 神戸製鋼所	ジルカロイ腐食試験	22	2	非公表
3	(株) ヴィジブルインフォメーションセンター	確率論的安全評価コードGSRW-PSAの高速化およびGUIに係る拡張	6	2	非公表
		分配係数の不確かさに関するデータ整備	4	1	非公表
		地形・地質構造の変化量計算コードの拡張	4	1	非公表
		オーバーパック腐食寿命評価コードの改良	4	1	非公表
4	中央開発(株)	地質・気候関連事象の発生による地下施設への影響事例に関する調査	7	1	非公表
		諸外国のリスク論的評価に関する調査	5	1	非公表
		FEPデータベースのインターフェイス改良	4	1	非公表
5	(株) 間組	地質・気候関連事象の影響評価モデルの不確実性に係る情報調査	6	1	非公表
		水理パラメータに関する評価モデルの整備	4	1	非公表
6	三菱マテリアル(株)	物質移行-変質連成解析計算コード機能拡充整備	6	2	非公表
7	(株) テラバイト	多孔質媒体中での地下水流動・核種移行評価コードMIG2DFの開発	5	1	非公表
8	(株) 日立エンジニアリング・アンド・サービス	考古学的金属製品等の分析	3	1	非公表
9	JFEテクノリサーチ(株)	試験後試験片中の水素濃度の分析	2	2	非公表
10	パリオ・サーヴェイ(株)	鉄接触砂の分析	2	1	非公表

C.株式会社テラバイト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社テラバイト	解析用データセット作成作業	1	随意契約	-

D.公益財団法人原子力安全研究協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	公益財団法人原子力安全研究協会	オーバーパックの長期耐食性に関する腐食試験および文献情報の整理作業	12	1	非公表